

市 政

一般質問

市政一般質問とは、議員が市側に対して市政について尋ねたり、意見や要望を述べ、市政をより良い方向へ導くものです。12月定例会では、12月3日から8日まで15名の議員が登壇し、幅広い活発な論議が展開されました。主な質疑の要旨は次のとおりです。

史跡の保存・伝統芸能の伝承・科学教育の取り組みについて

中瀬議員

(1) ①黒丸踊の国指定へ向け準備が進んでいるようであるが、進捗状況はどうか？また、伝統芸能を伝えていくために伝統芸能伝承館の建設についてはどう考えているか？
②将来を担う子どもたちが未来に向け夢を抱き、科学の分野で活躍する人材を育成する環境づくりが必要ではないか？

(2) 学徒動員など一般市民の犠牲者を慰霊する21航空廠慰霊祭は航空廠に関わった人たちが中心になって行われており、今年で49回目を迎えた。しかし、その方々の高齢化が進み存続が困難な状況になってきている。大村と大きな関わりのある慰霊祭だけに市が中心となってやるべきだと考えるがどうか？

市長

(1) ①先日開催された法養祭には文化庁から主任調査官が見えられ、準備から奉納踊までご覧いただき、調査についてご指導いただいた。これまでの調査内容については非常にいい評価をいただいております、国指定に向けて進んでいるという感触を得ている。現在、民俗芸能や歴史の専門家、黒丸踊保存会で構成する黒丸踊調査指導委員会を設置し、指定に向けて全力を注いでいる。伝統芸能伝承館については、歴史の保存とその活用により観光振興へつなげていく

教育長

(1) ②未来を切り開いていくのは次代を担う子どもたちであり、学校教育では、夢やあこがれを抱き、その実現に向かって努力する子どもを育てることが大切である。そして科学は未知への好奇心や探究心を育ててくれる分野だと思っている。教育委員会では「豊かな学力」という言葉を掲げているが、これは、単に知識や数値だけの学力ではなく、心を伴って日々

福祉保健部長

(2) 慰霊祭のお世話をされている皆様がお話されていることが今後の慰霊祭の開催について不安をお持ちのこととは承知している。市としては、案内状の準備が大変だと聞いているので宛名作成や文面印刷について協力している。今後、要望がある限り、できるだけ協力していきたい。全面的に市が行うことについては、神事が行われていることから適切ではないと考えている。

の生活の中で知識や体験が生きて働く学力として身につけてほしいという意図がある。これはまさに未来に向かって夢を描き、その分野で活躍する子どもたちに必要な力を身につけさせることではないかと思っている。具体的な取り組みとしては、子ども科学館での様々な展示や観察、実験などの体験、科学に関する講座、子ども科学館まつりなどがある。特に今年度は、大村出身の物理学者長岡半太郎の没後60年にあたることから記念講演会を開催する予定である。